

6年生保護者様

玉城町立下外城田小学校

平成30年度全国学力・学習状況調査について

さる4月に実施しました全国学力・学習状況調査について、学校だよりでもお知らせしましたが、改めて6年生保護者の皆様に結果についてお知らせいたします。

学校でも、調査実施後から児童の状況を把握し、改善事項を明らかにして取り組んでいるところです。どうか、ご家庭でも参考にさせていただき、お子様の学力の伸長につなげていただければ幸いです。

○全体的な結果から

国語、算数、理科すべてで三重県平均・全国平均を数%上回る良好な成績でした。中でも算数A（基本問題）算数B（応用力や活用力を問う問題）理科は正答率が高かったです。「数直線の使い方」「規則性の見つけ方」の正答率が高かったですが、一方で「百分率」「除法の意味」「漢字の書き取り」には課題があることがわかりました。

学習・生活の状況については、依然としてゲームやテレビ等の視聴時間が長い傾向です。宿題などの決まった学習内容には熱心に取り組んでいますが、疑問をもったことを自分から調べるような発展的な学習への取り組みがやや弱い傾向にあります。一方で自尊感情は高く、地域のことや地域の人から学ぶことや地域行事への参加はとても高い状況です。

国語

①A問題（主として知識に関する問題）

<全国平均を5ポイント以上、上回っている>

- ・図書館の行き方の説明として適切なものを選択する（1）
- ・物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する（2）
- ・文の中で漢字を使う（8ア・エ）

<全国平均を5ポイント以上下回っている>

・文の中で漢字を使う（8ウ）

②B問題（主として活用に関する問題）

<全国平均を5ポイント以上、上回っている>

・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる（1三）

【今後の手立て】

・話す、聞くはABともよくできていましたが、主語・述語に関する問題や意見を記述する問題はできていませんでした。情報を受け取ることは得意ですが、情報を処理して自分の意見を書くことは苦手なようです。特定の漢字の書きは苦手でした。



・言語事項への理解を深めるために、色々な種類の文の読解経験を積み、学力として求められる力もつけていきたいと考えます。自分の意見を文章にまとめる力をつけるために、日々の授業の中で、自分の考えを書く場面を意図的に取り入れていきます。漢字の読み書きは基本的な力として必要ですので、引き続き、繰り返して指導をしていきます。

算数

①A問題（主として知識に関する問題）

<全国平均を5ポイント以上、上回っている>

・除法の意味（1（1））、1にあたる大きさを求め数直線上に表す（1（2））、1にあたる大きさを求めるが除数が小数（1（3））、小数の除法（2）、十進法の意味（3）角（5（1）（2））、空間の中にあるものの位置を正しくかく（6）、円周率（7（1））、直径と円周の長さとの関係（7（2））

<全国平均を5ポイント以上、下回っている>

・面積がそろっているときの込み具合の比べ方（4（1））、百分率（8）

②B問題（主として活用に関する問題）

<全国平均を5ポイント以上、上回っている>

- ・三角形の合同 (1 (1))、角 (1 (2))、示された考え方を解釈、表に整理、条件にあう判断をする (2 (2))、棒グラフ、帯グラフから読み取り、適切に判断する (3 (2))、示された考え方を解釈し、条件を変えた数量関係を適切な表現方法で記述できる (4 (2))、折り紙の輪の色の規則性を解釈し、条件に合う色を判断できる (5 (2))

<全国平均を5ポイント以上、下回っている>

- ・必要な折り紙の枚数の理由を根拠をもとに記述する (5 (1))

【今後の手立て】

- ・角、直線、数直線、三角形の合同条件や、示された条件にそって判断することはよくできていたが、百分率や割合、根拠をもとに表現することが苦手なようです。



- ・割合への理解を深めるために、数直線等によりイメージさせるなど、子どもたちの理解が深まるように指導方法を工夫していきます。授業の中で、示された条件や数値等をつかって、根拠を明らかにして考えて記述するような機会を増やしていきます。

理科

<全国平均を5ポイント以上、上回っている>

- ・野鳥の観察方法 (1 (1))、調べたことの考察時の分析 (1 (2))、浸食を調べる実験方法の構想 (2 (2))、実験結果の分析、考察、記述 (2 (3))、乾電池のつなぎ方と電流の向き (3 (1))、電流の流れ方の実験の構想 (3 (2))、実験結果をもとに改善 (3 (3))、太陽の位置を考えながら光電池の位置や向きを考える (3 (4))、ろ過の適切な方法がわかる (4 (1))、食塩を水に溶かした時の全体の重さ (4 (3 9))

<全国平均を5ポイント以上、下回っている>

- ・堆積作用の科学的な言葉や概念の理解 (2 (1))、実験したことだけを根拠にして記述する

(4 (4))

【今後の手立て】

・全体としてはよく理解していて、実験方法や考察も適切にできていますが、科学的な言葉の概念や内容の理解ができていない単元もあります。自然事象への関心・意欲・態度と観察・実験の技能は高い数値を示しています。



・新しい概念の指導では、その意味を十分に理解させたいので進めるように心がけていきます。実験や観察には興味を持っている児童が多く、技能も優れていますので、さらに力をつけるように観察や実験の授業を充実させていきます。

子どもの状況（児童質問紙から）

（1）良好なこと

- ・自分を肯定すること
- ・先生が自分の良いところを認めてくれていると思うこと
- ・家の人と学校での出来事について話すこと
- ・学校のきまりを守ること
- ・5年生までの授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わった機会があったこと
- ・地域の行事に参加をすること
- ・算数の授業の内容がよくわかる、算数では考え方がわかるようにノートに書いていること
- ・算数の授業で公式やきまりを習うときにわけを理解するようにしていること
- ・算数や理科で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思うこと
- ・理科の授業の内容がよくわかること、観察や実験からわかることを考察していること
- ・理科の授業では、自分の予想をもとに実験や観察の計画を立てていること
- ・いじめはどんな理由があってもいけないこと、人の役に立つ人間になりたいこと

(2) 課題と考えられること

- ・家庭学習や休日の学習時間が少ないこと
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあること
- ・新聞を読むこと
- ・理科の授業で、観察や実験の進め方が間違っていないか振り返って考えること
- ・5年生の理科の授業を受けた後、習ったことに関わることでもっと知りたいことが出てきたこと
- ・社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」と思うこと

実践状況（学校質問紙から）

(1) 良好なこと

- ・地域の人材を外部講師として招いて授業を行っていること
- ・理科の授業で、子どもたちの好奇心を高める工夫をし、実験観察後の結果の考察をし、ノートへのまとめ方などの指導を行っていること
- ・子どもの特性に応じた板書の工夫をしていること
- ・地域学習や地域の人と関わる機会の設定をしていること
- ・学校全体として国語科だけでなく各教科、すべての活動を通じて言語活動に取り組んでいること

(課題になること)

- ・家庭学習の方法について十分に共通理解ができていないこと
- ・ボランティア等による授業サポート（補助）を行っていないこと

【今後の手立て】

・学校のきまりをよく守り、授業中も先生の指示をよく守り、ノートも工夫してとるなどまじめな学習態度や生活態度が身につけていることは素晴らしいです。様々な場面で地域の学習を進めており、地域の方との結びつきも強い状況で、多くの方々が学校の応援団になっていただいています。自己肯定感も高く、先生やお家の人と話も良くできており、自分が認められていると感じることも多く、落ち着いた

心持ちで生活を送っているようです。一方で、新聞などからの社会の情報や自然の事象などから自分で疑問を持ち、どう解決すればよいかを主体的に考え行動していく力に課題があるようです。家庭での学習時間は個人差が大きく、全体としてはもう少し不足しているように思います。



・教科の授業の中や総合的な学習の時間、学校行事などでもっと子どもたちが主体的に考え、実際にやってみるという機会を意識して増やしていこうと考えています。その中でうまくいかないことがあれば、自分で考えて解決へ向かう行動がとれるような経験をさせていきたいです。子どもたちの学習内容の定着が進むように、放課後や休み時間も含めて、学習支援ボランティアなどの活用も考えていきたいです。

・家庭での学習時間の確保のために、ゲームやパソコン、携帯電話などにかかる時間と読書や学習をする時間とのバランスを考え、各ご家庭のルールを決めていただくことがとても大切になります。ご協力をお願いいたします。

・登下校時の安全確保をさらに進めるためには、見守りなどを多くの方に助けていただけると助かりますので、ご協力をお願いいたします。